

## 令和4年度第1回ゼロカーボン研究会 事後調査報告

### I. 調査概要

#### (1) 調査目的

ゼロカーボン研究会に参加した自治体及び事業者等の研究会へのニーズを調査・分析し、岡山連携中枢都市圏、周辺自治体、事業者及び大学等と「ゼロカーボン社会」実現へ向けた“実現可能な事業創出”につながる研究会及び分科会を開催することを目的とする。

#### (2) 調査実施日

2022年5月18日（水）第1回研究会終了後

#### (3) 調査方法

第1回ゼロカーボン研究会に参加の自治体18名、事業者・その他20名を対象に、アンケート調査を行った。

#### (4) 調査項目

項目	主な設問
第1回研究会	参考になった講演内容、講演を受けて今後注力したい取組み、取組みの課題、分科会への参加希望
第2回研究会	興味のある講演内容、詳しく聞きたいこと・質問
今後の研究会	今後取り上げて欲しいテーマ

#### (5) 分析の視点

回答者の所属（自治体、事業者・その他）で回答構成に違いがあるかも含め、分析を行った。

#### (6) アンケート回収状況

全体 : 参加者38名中35名回収（回収率92%）

自治体 : 参加者18名中17名回収（回収率94%）

事業者・その他 : 参加者20名中18名回収（回収率90%）※傍聴人1名含む

## II. 調査結果

### 1. 第1回研究会で参考になった講演内容

質問①：第1回研究会に参加してみて、参考になった講演内容をお選びください。

(複数回答可)

選択肢：ナッジ理論を取り入れた省エネ教育プログラム

岡山での新築 ZEH、改修 ZEH の導入事例と今後の普及に向けて

太陽熱温水器の最新動向

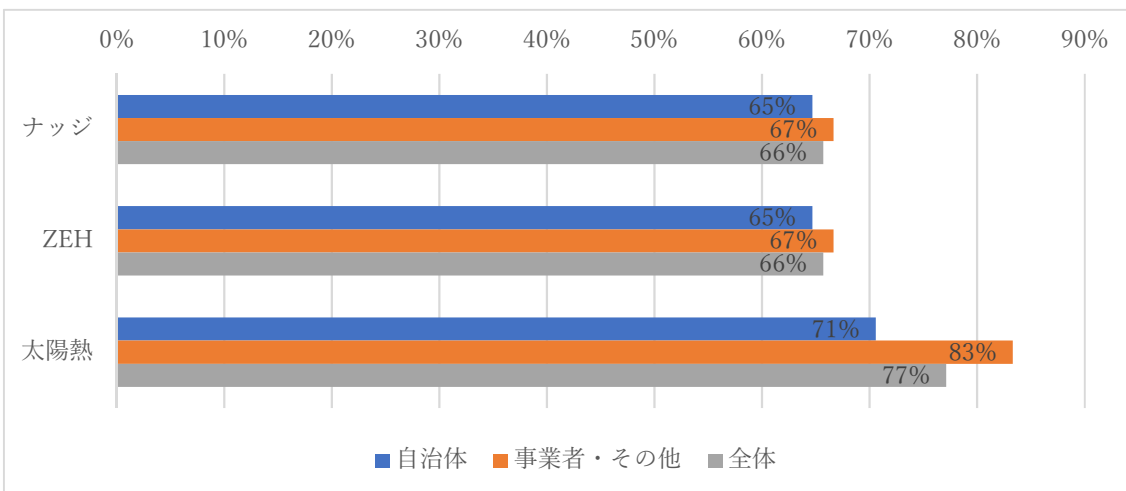
参考にならなかった

- ・全体で、「太陽熱温水器の最新動向」が参考になったという回答が最も多い。(77%)
- ・自治体と事業者・その他で、回答構成に大きな違いはなかった。

【表1 回答一覧 (参考になった講演内容)】

	ナッジ	ZEH	太陽熱 温水器	参考になら なかった	無回答	合計
自治体	11	11	12	0	0	34
事業者・その他	12	12	15	0	0	39
合計	23	23	27	0	0	73

【図1 回答割合 (参考になった講演内容)】



## 2. 第1回研究会のテーマに関して、今後特に注力したい取組み

質問②：第1回研究会のテーマに関して、今後特に注力したい取組みをお選びください。

選択肢：ナッジ理論を取り入れた省エネ教育

新築 ZEH、改修 ZEH の導入

太陽熱温水器など、家庭用再エネ設備の導入

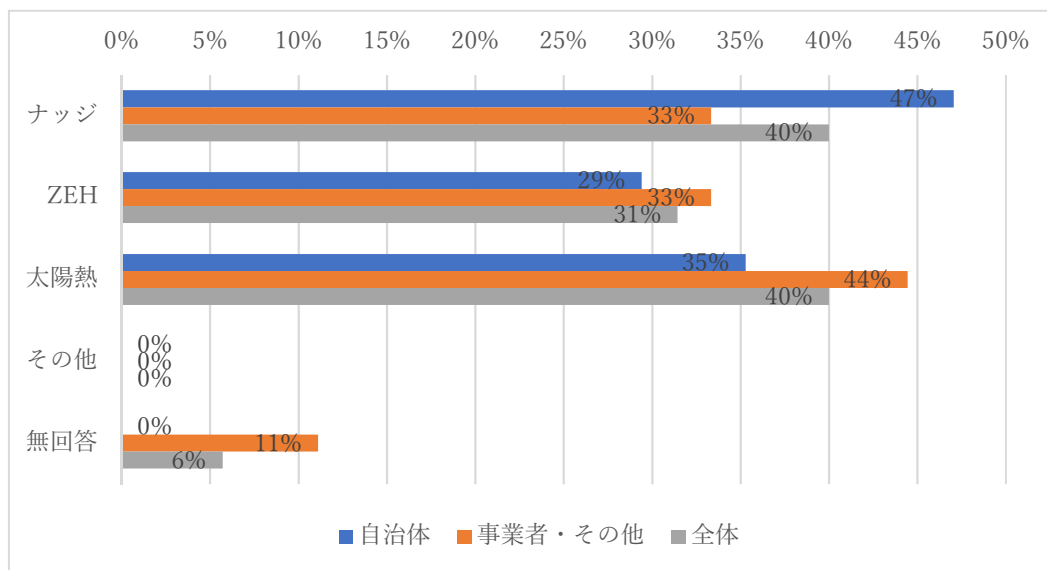
その他(自由記述)

- ・自治体では「ナッジ理論を取り入れた省エネ教育」の回答が最も多い。(47%)
  - ・事業者・その他では「太陽熱温水器など家庭用再エネ設備の導入」の回答が最も多い。(44%)
- (44%)

【表2 回答一覧 (特に注力したい取組み)】

	ナッジ	ZEH	太陽熱 温水器	その他	無回答	合計
自治体	8	5	6	0	0	19
事業者・その他	6	6	8	0	2	22
合計	14	11	14	0	2	41

【図2 回答割合 (特に注力したい取組み)】



### 3. 取組みの具体的内容について

質問③：問2（質問②）でご回答いただいた取組みの具体的内容について、差し支えない範囲でご記入ください。

回答：自由記述

- ・ナッジへの取組みとして、教育部門と協力して検討したい、小学生向けのイベントで参考にしたい、といった行政施策での活用を希望する回答があった。
- ・ZEHへの取組みとして、補助事業を充実させたい、今後の動向を注力したい、といった補助事業強化の検討や、研究会を機に高い関心を持つ回答があった。
- ・太陽熱温水器などの家庭用再エネ設備導入への取組みとして、補助事業を充実させたい、太陽熱温水器を顧客へ提案したい、といった補助事業強化検討のほかに、具体的な活用提案検討の回答があった。

【表3 回答一覧（取組みの具体的内容）】

回答内容	
ナッジ	市内小学生対象の環境イベントで取り入れられる方法などあれば参考にしたい
	教育部局と協同で取り組んでいきたいと考える
	本日の話を聞いて関心はあるが、具体的な内容についてはまだわかりません
	ハード面のみ取り組むのではなく、ライフスタイルの見直しから始めるべきと考える。なので教育面で検討すべき
	小学生向けに地球温暖化対策の教育を進めていきたいと思っているので、ナッジについても勉強したいと思いました
	大学構成員にナッジ理論による行動を促すためのインフラ整備などについて検討していきたい
	環境教育、SDGsの取組みの一環として小学生向けエコクッキングを開催していたが、コロナ禍でできていない再開したい。
	また地域のエネルギー事業者として省エネ教育にもっと力を入れたいと考える
	行動科学活用フレームワークで人間はデフォルトに従うというところ等です
	エンドユーザーへ向けた電化・省エネリフォームの推進活動
	これから検討します
教育庁にも情報共有し、普及を検討できればと思います	
ZEH	令和4年からZEHに対する補助を開始したところ。今後さらなる普及促進を図っていく必要がある
	改修でのZEH化については動向を注力したい

	ZEH 補助事業についてしっかりと他省庁と連携を（とって取り組みたい）
	補助事業の見直し（拡充）
	普及啓発していきたい
	新築及び改修 ZEH の LP ガスからのアプローチ（ハイブリッド給湯機やエネファーム等）
太陽熱	省エネ機器の購入者に対する補助金交付
	太陽熱のエネルギー変換効率の高さの周知
	家庭用再エネ設備導入に関する補助制度
	住宅用スマートエネルギー補助金の継続実施等により導入支援をしていきたいです
	大学で活用できる可能性があるから
	太陽熱温水器システム
	蓄電池の代わりに太陽熱温水器を顧客へ提案したい
	補助事業の見直し（拡充）
	普及啓発していきたい

#### 4. 取組みの課題

質問④：問3（質問③）の取組みを進めるにあたり、課題となることがあればお選びください。（複数回答可）

選択肢：「家庭部門の脱炭素化」に関する基礎情報・知識が不足している

財源確保に関する情報が不足している

事業実施のための体制（他団体との連携体制等）を構築するのが難しい

所属団体内で合意が得るのが難しい

事業実施による費用対効果が低いと思われる

事業実施による効果が期待通り発揮されるか不安

事業実施のための人員が不足している

所属団体における「家庭部門の脱炭素化」に対する優先順位が低い

何から取り組むべきかわからない

その他（自由記述）

・全体では「家庭部門の脱炭素化に関する基礎情報・知識が不足している」の回答が最も多く、35人中13人。(37%)

・自治体の回答で最も多かったのは「事業実施のための人員が不足している」(50%)であり、次いで「家庭部門の脱炭素化に関する基礎情報・知識が不足している」(44%)の回答が多い。

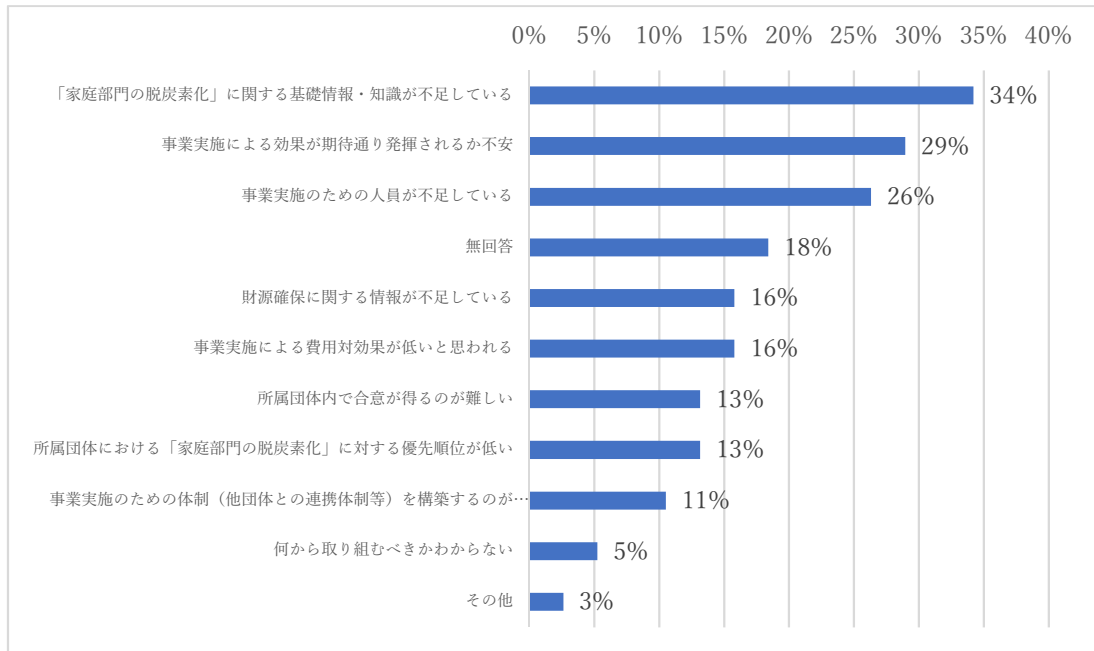
・事業者・その他の回答で最も多かったのは、「家庭部門の脱炭素化に関する基礎情報・知識が不足している」(25%)と、「事業実施による効果が期待通り発揮されるか不安」(25%)であり、次いで「事業実施による費用対効果が低いと思われる」(20%)の回答が多い。

【表4 回答一覧（取組みの課題）】

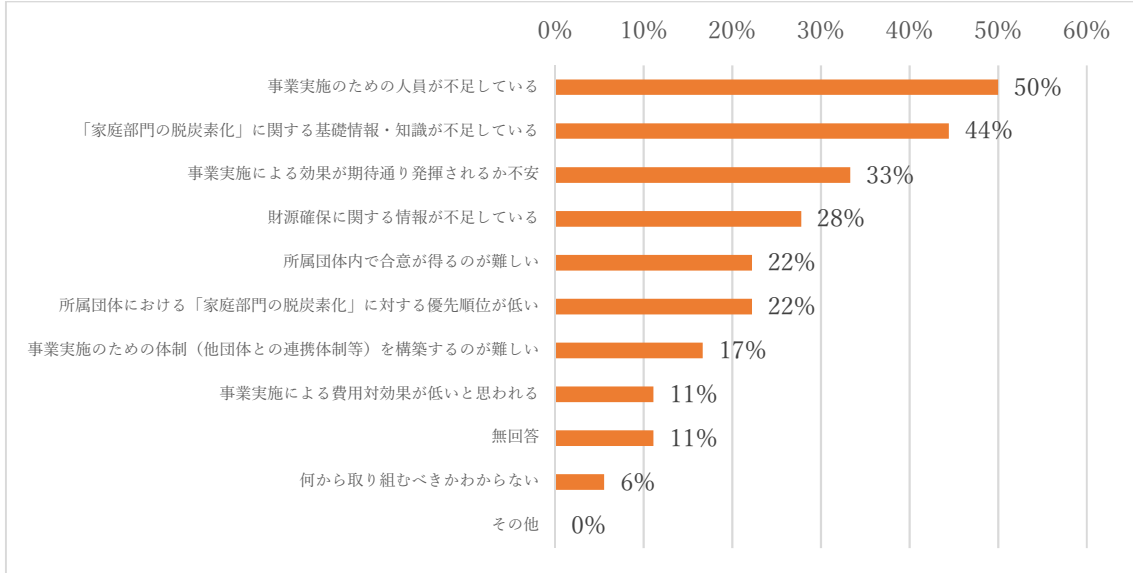
	基礎情報・知識不足	財源確保情報の不足	体制構築が難しい	合意取得が難しい	費用対効果が低いと思う	効果に対する不安
自治体	8	5	3	4	2	6
事業者・その他	5	1	1	1	4	5
合計	13	6	4	5	6	11

	人員不足	優先順位が低い	何から取り組むべきか不明	その他	無回答	合計
自治体	9	4	1	0	2	44
事業者・その他	1	1	1	1	5	26
合計	10	5	2	1	7	70

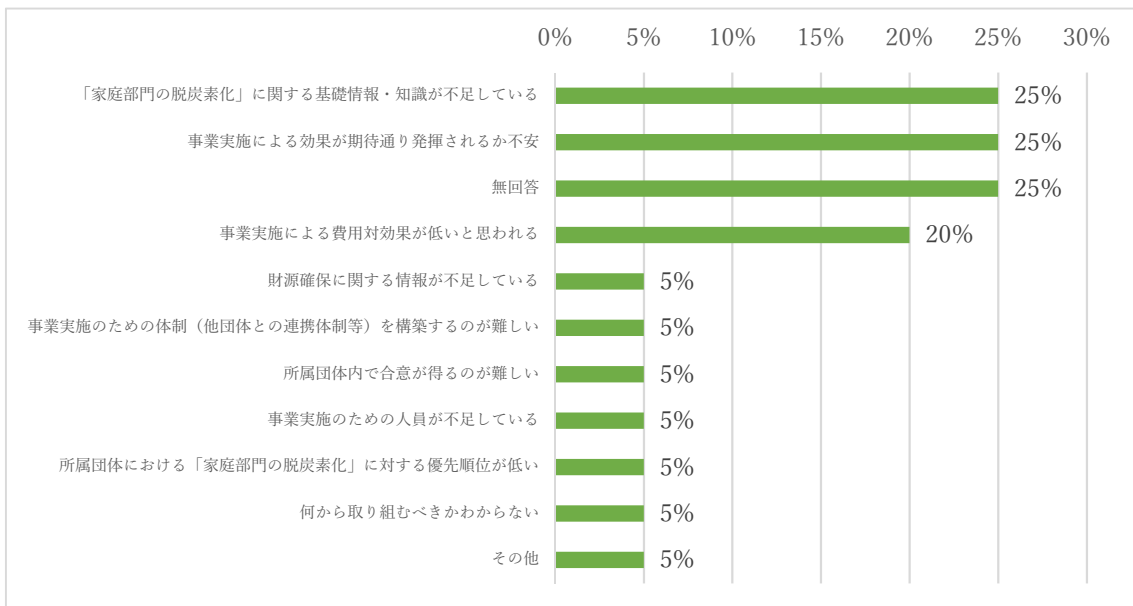
【図3 回答割合降順（全体取組みの課題）】



【図4 回答割合降順（自治体の取組み課題）】



【図5 回答割合降順（事業者・その他の取組み課題）】





## 5. 分科会の参加の希望の有無

質問⑤：第1回研究会のテーマについて、より詳細な内容を検討するゼロカーボン分科会が後日開催される場合、参加したいと思いますか。

選択肢：ぜひ参加したい

予定が合えば参加したい

参加しない

わからない

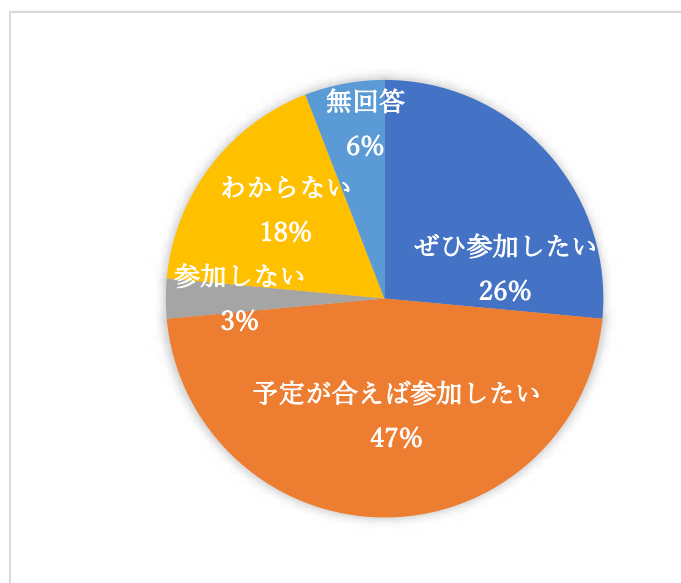
・「ぜひ参加したい」「予定が合えば参加したい」を合わせると、73%が分科会への参加を希望している。

・自治体と事業者・その他で、回答構成に大きな違いはなかった。

【表5 回答一覧（分科会への参加希望）】

	ぜひ参加したい	予定が合えば参加したい	参加しない	わからない	無回答	合計
自治体	5	8	0	2	1	16
事業者・その他	4	8	1	4	1	18
合計	9	16	1	6	2	34

【図6 全体の回答割合（分科会への参加希望）】



## 6. 第2回講演内容で特に関心のある内容

質問⑥：第2回研究会のテーマ「太陽光発電の新たな導入方法」の講演内容は以下の通りです。特に関心のある内容をお選びください（複数回答）

選択肢：ソーラーシェアリング・導入手順

ソーラーシェアリング・事例紹介

ソーラーシェアリング・活用可能な補助事業

ソーラーシェアリング・費用

水上太陽光・導入手順

水上太陽光・事例紹介

水上太陽光・活用可能な補助事業

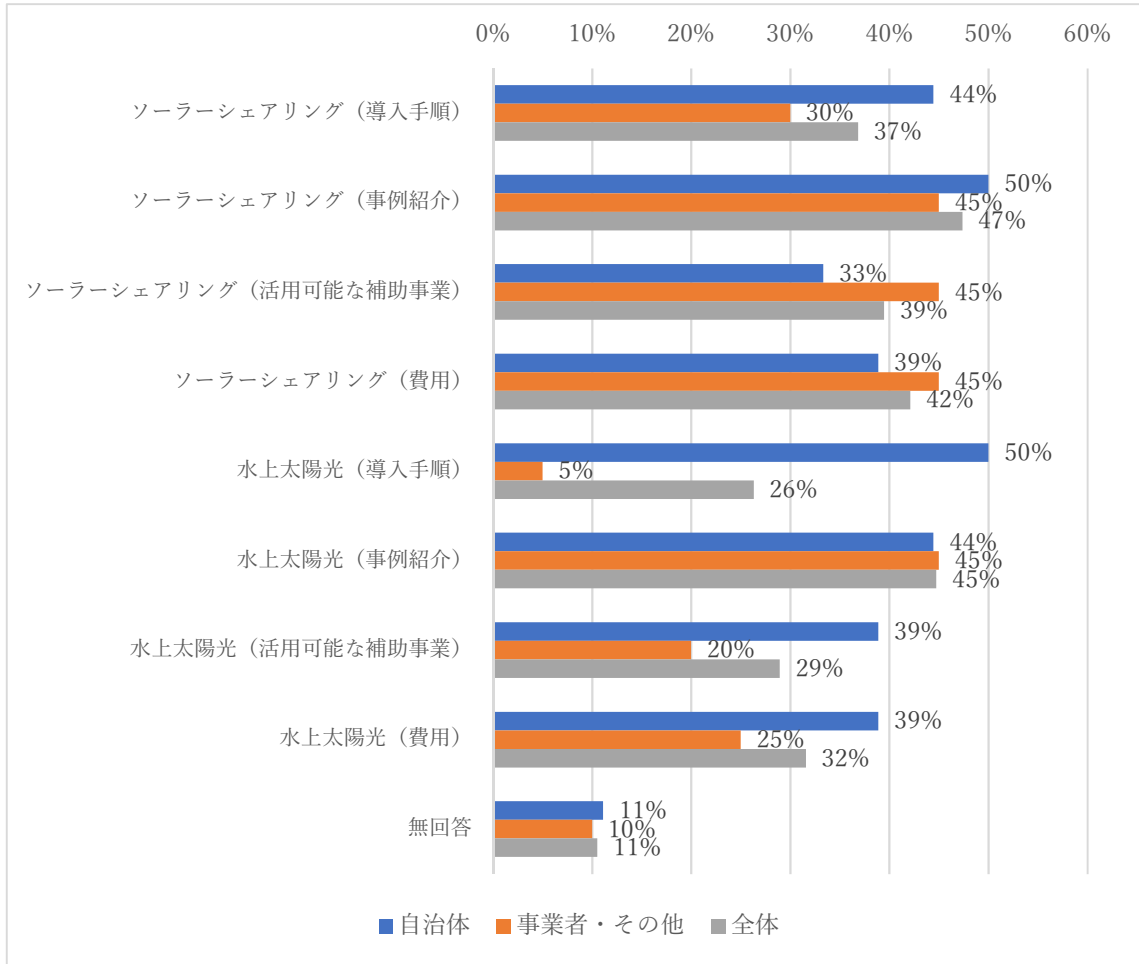
水上太陽光・費用

・ソーラーシェアリング（47%）、水上太陽光（45%）ともに、「事例紹介」の関心が高く、次いで、「費用」（平均37%）、「補助事業」（平均34%）の関心が高い。

（ソーラーシェアリングと水上太陽光の回答割合の平均値より）

・「導入手順」については、自治体ではソーラーシェアリング（44%）、水上太陽光（50%）と両方とも関心が高いのに対し、事業者・その他ではソーラーシェアリング（30%）、水上太陽光（5%）と、水上太陽光の関心が低い。

【図7 回答割合（太陽光発電の新たな導入方法について特に関心のある内容）】



7. 第2回研究会のテーマに関して、詳しく聞いてみたいこと・質問

質問⑦：第2回研究会のテーマに関して、詳しく聞いてみたいこと・質問などがございましたらご記入ください。

回答：自由記述

【表6 回答一覧（第2回テーマ質問）】

	回答内容
ソーラーシェアリング	農家さんとの合意形成について
	ソーラーシェアリングのメリットについて
	ソーラーシェアリングのメリット・デメリット
	ソーラーシェアリングの岡山県内の事例、生産物の報告内容等について
	ソーラーシェアリングの課題について
	ソーラーシェアリングが導入可能な農作物の種類に制限があるか、あればその具体例。
	景観上の問題や導入時のメリットの紹介
水上太陽光	水上太陽光の課題について

## 8. 今後取り上げてほしいテーマ

質問⑧：今後取り上げてほしいテーマについて、お選びください。（複数回答可）

選択肢： 地域新電力

次世代自動車

水素

バイオマス

RE100

グリーンライフ・ポイント

BDF

小水力発電

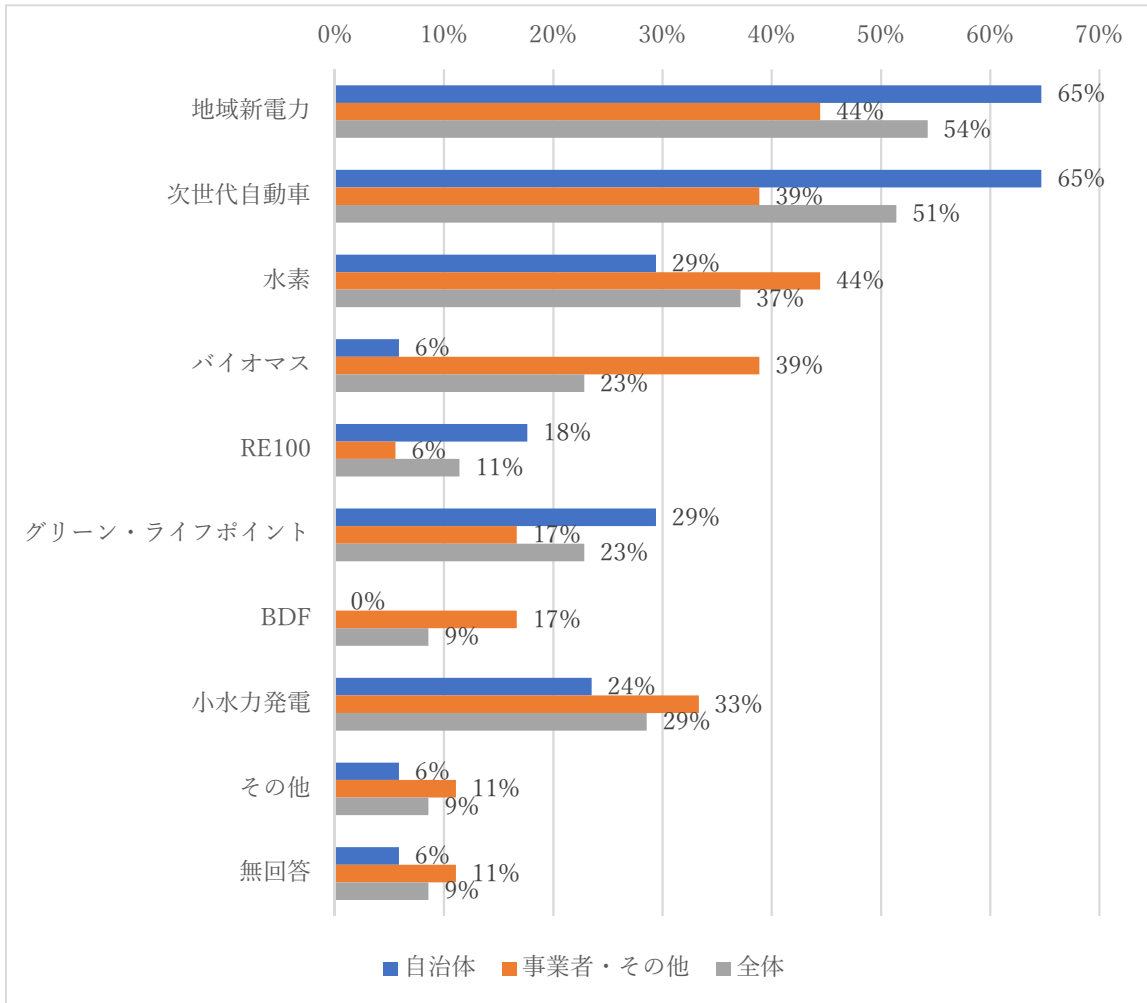
その他（自由記述）

- ・全体で最も関心の高いテーマは「地域新電力」（54％）であった。
- ・自治体では、「地域新電力」「次世代自動車」が最も関心が高い。（ともに 65％）
- ・事業者・その他では、「地域新電力」（44％）、「水素」（44％）、「次世代自動車」（39％）、「バイオマス」（39％）に関心が高い。
- ・その他の回答では、第3回研究会のテーマ予定である「ZEB」の回答があった。

【表7 回答一覧（今後取り上げて欲しいテーマ）】

	地域新電力	次世代自動車	水素	バイオマス	RE100	グリーンライフ・ポイント	BDF	小水力発電	その他	無回答	合計
自治体	11	11	5	1	3	5	0	4	1	1	42
事業者・その他	8	7	8	7	1	3	3	6	2	2	47
全体	19	18	13	8	4	8	3	10	3	3	89

【図8 回答割合（今後取り上げて欲しいテーマ）】



【表8 回答一覧（今後取り上げて欲しいテーマ・その他の回答）】

	回答内容
1	ZEB の導入検討手順
2	市民向け地球温暖化対策の普及啓発方法の効果的な方法の提案
3	事業者向けの事例
4	地域マイクログリッド、VPP 等先進的な脱炭素とレジリエンスな取り組み

## 9. その他ご意見・ご感想

質問⑨：その他、ご意見・ご感想などがございましたら、ご記入ください。

回答：自由記述

【表9 回答一覧（ご意見・ご感想）】

	回答内容
1	岡山市は用水路が多いため、小水力発電の活用が難しいか、検討できないか
2	太陽熱の利用は、給湯や空調が中心となる中、乾燥工程への活用も事例として挙げられています（P44）、温度帯の課題もあるのかと思いますが、産業のエネルギーフローにおいて、この他にも熱源転換が可能とお考えの工程がありましたらご教授ください。

1：「小水力発電」のテーマで研究会を行う場合、講師への質問として投げかける。

2：講師（寺田鉄工所様）へ質問内容を連絡済。